

2020年3月20日

新型コロナウイルス流行について

公益財団法人日本テニス協会

会長 山西健一郎

専務理事 福井 烈

全国のテニス選手、コーチ、スタッフそして大会関係者の皆様へ

新型コロナウイルス感染の拡大は、かつて経験したことのない形で世界経済や各国の市民生活に影響を与えています。スポーツ界においても、競技会の中止や延期が世界各地で相次いでおり、選手やコーチ・スタッフの皆さんは、不安の日々を過ごされていることと思います。日々刻々と状況が変化し、今後の展開もなかなか予想できない中、予定していた試合に出ることができないだけでなく、人によっては移動さえもままならず、健康や体力の維持に支障をきたす場合さえあるかも知れません。

日本テニス協会は、役職員の安全を基本に置きながら、政府や地方自治体の判断や施策を注視し、国際テニス連盟、ATP、WTAと密接な連携を図り、日本のテニス統括団体としての役割と業務を継続し、テニス大会の再開に向けた努力を続けています。この危機的状態の一刻も早い終息を願いつつも、今すぐ画期的な解決策を見出すことは難しく、今は忍耐の時であると考えます。全国のテニス関係者の皆様におかれましても、この時期をできるだけ有効にお使いいただき、テニスツアーや各地での大会が再開される日に向け、できるだけ日頃の努力を継続していただきたいと思っております。

日本テニス協会は、皆さんと力を合わせてこの難局を乗り越え、スポーツの力で世界中の人々に希望や勇気を与えていくことができるよう、役職員が一丸となり、その使命と役割を果たしていきたいと思っております。